

3-10

主題 施設で天寿を全うすること

ターミナルケア

副題 一地域と家族とともに支える最期の時—

事例を通して

研究期間 10ヶ月

事業所 特別養護老人ホーム・至誠キートスホーム

発表者：小川 隆大（おがわ たかひろ）

アドバイザー：川畑 篤子（かわばた あつこ）

共同研究者：協力をして下さった多職種の皆様・入居者の皆様・ボランティアさん達

電 話 042-538-2323

メール shisei-kiitos@shisei.or.jp

FAX 042-538-2324

URL <http://www.shisei.or.jp/>今回発表の
事業所や
サービスの
紹介

特養70床、ショートステイ20床、通所介護、訪問介護、地域包括支援、居宅サービス支援センターを併設している。また、特養、ショートステイでは2000年4月の開設時より、ユニットケアに取り組んでいる。

《研究前の状況と課題》

以前（H21・4月）、施設の中で看取りへのイメージは“手作り・あいまい・不安”があり、方法論として“経験のなさ・医療の壁・夜勤体制”のことが、相互に絡み合いその都度の手探りといった状況でした。

医療ニーズの高い入居者が増加する中、また、施設での最期の時を望む方も増えていきます。そのような状況で、施設で最期を迎えることについて、より深く、また、体系的に考えていくことの必要性も増し、入居者の人生を通して学んだこと、次につなげていくことの重要性を深く感じていたという現実でした。

《研究の目標と期待する成果》

以降（H21・4月）では、天寿を全うするケア（看取りケア）の特性上目標を設定して取り組みをしていくというより、これまでの取り組みを活かしつつ悩んでいた部分や自信を持ちきれなかった部分について実践を通して明確にしていっていった過程を述べていきます。その中で、一つ一つの事例を通して、実践（H21年度は9名）からの考え方や理論を抽出するという形にて、不安の軽減や知識・経験の構築等に結び付けていくことについて整理していきます。

今回の発表では、A氏の事例を中心にその他の経験を含め学んだことをまとめていきます。

《具体的な取り組みの内容》

Aさん 93歳 女性

H12・4 入所

動物が大好きでホームで毎週水曜日にはボランティアさんと一緒にホーム内を散歩する。赤ちゃん人形を本当の子供のようにかわいがり、いつもそばに置いてあった。ご家族の面会も1ヶ月に1度程度ある。

H20・4

より少しずつADLに変化が見られる。

ターミナル期間 H22・1～

- ・記録の一元化
- ・食事（フルーツ食・良質の水分）
- ・アロママッサージ
- ・ボランティア
（散歩・ライア演奏・日々のかかわり）
- ・ホーム全体で協力
- ・病状説明
- ・Aさんの看取り期を通して、家族関係の円滑化
- ・家族の協力を得てのケア
（面会時に家族に情報交換・家族と職員と連携）
- ・落ち着ける環境（ヒーリング・アロマ）

送るケア

- ・エンゼルケア（家族・職員・アロマオイル）
- ・施設でのお別れ会

看取り後のカンファレンス

- ・職員間・多職種のカンファレンス
- ・ボランティアさんとの話し合い
- ・アンケート実施

《取り組みの結果と評価》

最期まで10年間過ごしてきた“いつもどおりの生活”が継続でき、家族の手をとり迎えることができた。

看取るための空間ではなく普通の空間の中で看取ることができた

送るケア（お別れ会）を行うことで、他の入居者にとっても“自分のとき（亡くなった）も皆に送ってもらえる”という安心感につながった

（以下このケースおよび、さまざまな看取りを通して学んだこと）

職員の成長

- ・毎日のケアの大切さ・その時のケアの大切さ

身体変化を通して学んだこと

- ・無理しないこと・暖めることの大切さ
- ・不安にさせないことの大切さ

ユニット

- ・他入居者の家族の死生感の醸成

《まとめ》

今回の事例では最期の瞬間を家族と一緒に迎えられることができた。しかし、ホームで看取りたくても看取れないケースがあることも私たちは知っておく必要がある。

ホームでの看取りを行うことは現場の職員にはまだまだ大きな不安・負担もある。

1人1人暮らし方が違うように天寿を全うすることもオーダーメイドで考えることが重要である。

《提案と発信》

限られた時間の中で“天寿を全うしてもらいたい”と思うのが職員の心境です。普段の業務では、常にその人を見てあげられないという不安が“ボランティア・多職種・家族”を巻き込んでいくことで、少しずつ少なくなってきました。自分達だけで頑張ろうとせず、さまざまな人たちを巻き込んでみてはいかがでしょうか。それにより安心したケアができ、より充実したものにできれば素晴らしい事だと思いませんか。

【メモ欄】追加資料 有 無

注：参加者が自由に記入できるスペースです。空欄のまま提出下さい。